

農地法第3条の規定による許可申請書

下記のとおり農地（採草放牧地）の権利を設定、移転したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。

令和 △ 年 ○ 月 × 日

記載例（貸借権設定）

譲受人（氏名） 南魚 太郎 印

譲渡人（氏名） 農業 花子 印

南魚沼市農業委員長 様

記

1 当事者の氏名等（認定経営発展法人が譲渡人の場合は、認定発展計画の写しを添付してください。）

当事者	氏名	年齢	職業	住所	国籍 (在留期間等)	及び在留期間 の満了日	認定経営 発展法人 (該当の場合は○)
譲受人	南魚 太郎	40	農業兼 自営業	南魚沼市浦佐 1188-2	日本 ()		
譲渡人	農業 花子	65	会社員	南魚沼市六日町 180-1			

譲受人は国籍の記入が
必要です。

賃貸借の際は、
10aあたりまたは総額で
賃借料を記入

2 土地の登記事項証明書に合わせて大字、小字、地番、登記地目、面積を記入してください。

行が余るときは、最後に「以下余白」と書き足してください。

南魚沼市農業委員会		所管者の氏名 又略称		所有権の氏名 又略称		賃借料等 の金額(円)	
地目	用途地目	地番	面積	地目	面積	10a当 □ 総額	
浦佐	前島	1185-1	田 田 1000	内・外	内・外		1 俵
浦佐	前島	1182-1	畑 畑 100	内・外	内・外		
以下余白				内・外	内・外		
				内・外	内・外		
				内・外	内・外		
地目別面積		田 1000 m ² 畑 100 m ² 計 1100 m ²		採草放牧地		m ²	

3 権利を設定し、又は移転しようとする

契約期間を記入してください。

(添付の契約書と日付を合わせてください)

権利の種類、原因	移転	月	日
賃借権又は 使用貸借権	移転		
()	設定		
	(× 年間)	始 期	令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日
		終 期	令和 × 年 × 月 × 日

4 権利を設定し、又は移転しようとする事由の詳細

譲受人	経営規模拡大のため 等	譲渡人	経営規模縮小のため 等
-----	-------------	-----	-------------

許可番号 南魚農委 第 号

上記のとおり許可する。 令和 年 月 日

南魚沼市農業委員長 並 木 孝 夫 印

農地法第3条の規定による許可申請書（別添）

I 一般申請記載事項

1-1 権利を取得しようとする者又はその世帯員等が所有権等を有する農地及び採草放牧地の利用の状況

所有地		農地面積（㎡）	田 畑 樹園地			採草放牧地面積（㎡）
			田	畑	樹園地	
	自作地	15000	10000	5000		
	貸付地	1000		1000		
非耕作地	所在・地番	地 登記簿	他市町村に経営農地がある場合、カッコ書きでその面積を記入してください。			

所有地以外の土地		農地面積（㎡）	田 畑 樹園地			採草放牧地面積（㎡）
			田	畑	樹園地	
	借入地	65000 (内魚沼市 20000 ㎡)	60000 (内魚沼市 20000 ㎡)	5000		
	貸付地					
非耕作地	所在・地番	地 目		面積（㎡）	状況・理由	
		登記簿	現況			
非耕作地						

1-2 権利を取得しようとする者又はその世帯員等の状況、農地法その他の農業に関する法令及び配置

(1) 作付（予定）作物、作物別の作付

	田 畑 樹園地 採草放牧地			
	田	畑	樹園地	採草放牧地
作付（予定）作物	水 稻	蔬菜畑		
権利取得後の面積（㎡）	71000	10100		

(2) 大農機具又は家畜

数 量	種 類	耕うん機	トラクター	田植機 (条植)	コンバイン (6 条刈)	乾燥機	調整機	農 用 自 動 車	
確保しているもの	所有	1	1	1 (8)	1	1	1	4	
	リース			1 (6)					
導入予定のもの	所有		1						
	リース								
	資金繰り		自己資金						

（記載要領）

1 「大農機具」とは、トラクター、耕うん機、自走式の田植機、コンバイン等です。

2 導入予定のものについては、自己資金、金融機関からの借入れについても記載してください。

機械の台数を記入してください。田植え機、コンバインは何条植（何条刈）か分かるように記載してください。表に記載のない機械を持っている場合は、一番右の列に機械の名前と台数を入れてください。

(3) 農作業に従事する者の数及び農作業への従事状況、配置の状況

① 権利を取得しようとする者が個人で **自身** の農作業歴を記入してください。状況

農作業歴	15 年	農作業技術修学歴	2 年	その他 ()	年
------	------	----------	-----	---------	---

② 世帯員等その他常時雇用している労働力

現在	4 人	農作業経験の状況	10年以上農作業従事
増員予定	0 人	農作業経験の状況	自分以外 の世帯員の方や常時雇用している方について記入してください。

③ 権利を取得しようとする者が個人である場合には、権利を取得しようとする者又はその世帯員等のその行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業への従事状況（「世帯員等」とは、住居及び生計を一にする親族並びに当該親族の行う耕作又は養畜の事業に従事するその他の2親等内の親族をいいます。）

氏名	年齢	主たる職業	権利取得者との関係 (本人又は世帯員等)	農作業への 年間従事日数	備考
南魚 太郎	45	農業 自営業	本人	230	
南魚 さと子	43	会社員	妻	80	
南魚 一郎	72	アルバイト	父	30	
ご自身とご家族の農作業への年間従事日数を記入してください。 農作業には水見や草刈り等の管理の時間を含め、 1回でも農作業を行った日は1日とカウントしてください。					

(注) 世帯員等が、その農作業に従事する者が、その行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業への従事状況は○を記載してください。

④ 臨時雇用労働力(年間延人数)

現在	2 人	農作業経験の状況	3～5 年程度農作業従事
増員予定	0 人	農作業経験の状況	臨時雇用 している方について記入してください。

⑤ 配置の状況（所有又は借入農地が複数市町村にまたがる場合は、市町村別に記載してください。（隣接市町村などで配置が同じ場合は、該当する市町村名を列記してください。）

市町村	氏名	住所地、拠点となる場所等
南魚沼市、魚沼市	南魚 太郎 金城 大和	南魚沼市
魚沼市	越路 耕一	魚沼市
南魚沼市	南魚 さと子 南魚 一郎	複数市町村にまたがって耕作をしている場合、 ・ どの市町村の経営農地を ・ どこを住所（拠点）とする人が耕作するのか を記入してください。

⑥ ①～⑤の者の住所地、拠点となる場所、平均距離又は時間

平均距離	7.5 km	平均移動時間	15 分
------	--------	--------	------

- (4) 農地法その他の農業に関する法令の遵守の状況等(別紙2に記載し、添付してください。)
- 添付資料: ☒ 有 チェックし、別紙「農地法その他の農業に関する法令の遵守の状況等」を添付してください。 (様式第1号の2)

(5) その他の考慮すべき事項

2 権利を取得しようとする者が農地所有適格法人の場合、その構成員等の状況

(別紙2に記載し、添付してください。)

添付資料: ☐ 有 農地所有適格法人としての事業等の状況 (様式第1号の3)

3 信託契約の内容 (信託の引き受けにより権利が取得される場合のみ記載してください。)

4 農地又は採草放牧地につき所有権以外の権限に基づいて耕作又は養畜の事業を行う者(賃借人等)が、その土地を貸し付け、または質入れしようとする場合には、以下のうち該当するものに印を付してください。

- ☐ 賃借人等又はその世帯員等の死亡等によりその土地について耕作、採草又は家畜の放牧をすることができないため一時貸し付けようとする場合である。
- ☐ 賃借人等がその土地をその世帯員等に貸し付けようとする場合である。
- ☐ その土地を水田裏作(田において稲を通常栽培する期間以外の期間稲以外の作物を栽培すること。)の目的に供するため貸し付けようとする場合である。
(表作の作付内容＝ 、裏作の作付内容＝)
- ☐ 農地所有適格法人の常時従事者たる構成員がその土地をその法人に貸し付けようとする場合である。

5 周辺地域との関係

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼすことが見込まれる影響を以下に記載してください。

(例えば、集落営農や経営体への集積等の取り組みへの支障、農薬の使用方法的の違いによる耕作又は養畜の事業への支障等について記載してください。)